

## 環太平洋パートナーシップ首脳声明（仮訳）

2015年11月18日

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国及びベトナムの首脳は、今日、環太平洋パートナーシップ協定の妥結を記念し会合した。我々は、5年以上の交渉の後、各国の閣僚及び交渉団が、太平洋に跨り、3つの大陸に接し、8億の人々を纏める、包括的で、バランスの取れた、変革的な地域協定という、2011年に定めた目標を達成する成果を実現させたことを祝福する。

21世紀の通商を支援する高い水準の貿易規律を設定し、貿易投資の野心的な自由化を提供することにより、TPPは、相互に裨益する各国の結び付きを強化及び拡大し、我々の地域的及び世界的な競争力を向上させ、雇用及び若者への新たな機会の創出を支援し、各国における経済成長及び発展を促進し、イノベーションを支援し並びに貧困の軽減を促進し、各国民に最大限のメリットを確保する。

我々は、TPP協定の交渉テキストが、現在、署名の前の検討及び考慮のためにその全体が利用可能となっていることを喜ばしく思う。我々は、各国の国内手続と整合的に、TPPが署名後速やかに検討され及び承認されることを期待している。我々は、その後、各国の消費者、労働者、農家及び大小双方の企業が、できる限り早急にTPPの共通利益及びTPPがもたらすより良い将来を実現し始めることができるように、TPP協定を完全に実施することに集中していく。

我々の焦点は現在のパートナーとの交渉結果の承認及び実施である一方、我々はまた、域内に渡る複数の経済からの関心を

目にしてきた。この関心は、TPPを通して、我々が世界で最も速く成長し、最もダイナミックな地域の一つにおいて、新しく魅力的なモデルを創造していることを確認している。

我々は、2週間前の就任後初めてTPP首脳会合に参加するトルドー首相を歓迎する。我々は、また、同首相による新政権として協定を検討し、協議のプロセスに従事するとのコミットメントを歓迎する。